

令和 2 年度

事 務 報 告

乙訓福祉施設事務組合

目 次

◇ 総 務 課	1
◇ 乙 訓 若 竹 苑	1 2
◇ 介 護 障 害 審 査 課	2 3
◇ 障 が い 者 相 談 支 援 課	3 2
◇ 乙 訓 ポ ニ ー の 学 校	3 8

総 務 課

1 主要な事務事業に関する事項

(1) 人事

① 職員数（令和3年3月31日現在）

事務局長	1
次 長	2
会計管理者（向日市会計管理者）	1
総務課 4名（再任用1名含む）	
課 長（事務局長事務取扱）	
参 事	1（再任用）
主 幹	1
行財政係長	1
企画総務係長（主幹事務取扱）	
企画総務係	1
乙訓若竹苑 15名（会計年度任用職員（月額）6名含む）	
施 設 長（次長1名事務取扱）	
施設長補佐	1
主 事	1
就労継続係長（施設長補佐事務取扱）	
就労継続係	4（会計年度任用職員2）
生活介護係長	1
生活介護係	3（会計年度任用職員2）
地域活動係長	1
地域活動係	4（会計年度任用職員2）
介護障害審査課 5名（会計年度任用職員（月額）2名含む）	
課 長（次長1名事務取扱）	
認定審査係長	1
認定審査係	4（会計年度任用職員2）
障がい者相談支援課 4名（会計年度任用職員（月額）2名含む）	
課 長	1
相談支援係長	1
相談支援専門職員（GM）	1（会計年度任用職員）
乙訓障がい者虐待防止センター相談員（係長事務取扱）	
乙訓障がい者基幹相談支援センター相談員	1（会計年度任用職員）
乙訓ポニーの学校 19名（会計年度任用職員（月額）6名含む）	
施 設 長	1
施設長補佐	1
指 導 員	1（会計年度任用職員）
療育係長	1
療育係	10（会計年度任用職員4）
相談係長（施設長補佐事務取扱）	
相談係	5（会計年度任用職員1）

合計 一般職員 33 名

* 再任用・会計年度任用職員（月額）を含めた合計は 50 名

* 会計管理者は除く。

* () 内は、再任用及び会計年度任用職員（月額）数の内書きである。

定数 38 名（一般職員の定数）

② 職員採用・退職等の状況

令和元年度 退職者数	令和2年度 採用者数	令和2年度 退職者数
1	4	2

(2) 職員研修（総務課報）

人事評価に関する研修を(株)ぎょうせいから講師を招き、評価者（管理職員）を対象に実施した。その他、京都府等の主催する各種研修会への派遣を行う等取り組んだ。

① 内部研修

・「新任評価者研修」

（令和2年4月27日実施・新任評価者対象）

・「人事評価 評価調整会議」

（令和3年2月15日実施・管理職員対象）

・「アサーティブコミュニケーション（円滑なコミュニケーションへ導く技法）」

（令和3年3月10日実施・全職員対象）

② 派遣研修

研 修 名	人数	開 催 日	場 所
5年目研修（ロジカルシンキング）	1	令和2年8月25日	eラーニング
健康な職場をつくるメンタルヘルスケア	2	令和2年9月28日	eラーニング
新規採用職員研修	4	令和2年11月5日	京都府職員研修・研究支援センター
新任課長研修	1	令和2年10月20日	eラーニング
地方公務員における問題を抱える職員対応の実務ポイント	1	令和3年1月21日～22日	eラーニング

研 修 名	人 数	開 催 日	場 所
手話研修	1	令和3年3月18日～ 19日	メルパルク京都

(3) 衛生管理

衛生管理については、定期健康診断、施設指導員の特殊健康診断及びストレスチェックに加え、産業医・衛生管理者による職場巡視や個別面談を実施し、職員の健康管理を支援した。

① 定期健康診断（特定健康診査含む）（京都府市町村職員共済組合）

実施日 令和2年6月22日～25日

受診 48名（うち人間ドック5名）

対象 一般職・再任用・会計年度任用職員

② 特殊健康診断（京都予防医学センター）

実施日 令和3年2月25日・26日

受診 23名

対象 施設指導員

③ 産業医による個別面談・健康診断結果意見付与・職場巡視随時

④ ストレスチェック 令和2年9月実施

⑤ 衛生委員会 随時

(4) 広報

組合の広報活動の一環として、広報紙を発行（年2回、6月・12月）し、全戸配布した。インターネットによる情報発信については、組合公式サイトにより、組合概要、各種事業やイベントの開催日程などの情報を提供した。

・組合広報紙「おつふくつうしん」の発行

発行日 第43号 令和2年 6月 1日

第44号 令和2年12月 1日

(5) 契約事務の状況（総務課所管）

物品賃貸借契約

契約件数 1件

物 件 名	契約の方法	契約の相手	契約金額 (税込)
パソコンリース料(12台) (令和2年7月1日～令和7年6月30日)	指名競争入札	NECキャピタル ソリューション(株)	1,636,800円 (5年間分)

(6) 乙訓福祉施設事務組合運営協議会会議の状況

運営協議会で、乙訓福祉施設事務組合の円滑な運営を図るため、管理運営、関係行政機関との調整に関することを協議した。また、部署別等で専門的かつ詳細な協議を行うことが適当な場合には、必要に応じて部会を設けて協議した。

① 全体会

開催日	主な議題
令和2年8月5日	・令和元年度乙訓福祉施設事務組合決算及び事業の報告について ・各部会の報告について
令和2年11月16日	・令和2年度乙訓福祉施設事務組合一般会計予算(案)及び事業概要について ・各部会の報告について

② 部会

ア 若竹部会

開催日	主な議題
令和3年2月9日	・今後の生活介護事業について ・地域活動支援センターの現状について

イ ポニーの学校部会

開催日	主な議題
令和2年10月2日	・障害児相談支援業務の状況と新規利用について ・発達相談業務の実施状況について(報告)

ウ 介護障害審査課部会

開催日	主な議題
令和2年4月21日 (介護保険担当)	新型コロナウイルス感染症に係る介護認定審査会の開催方法について
令和2年7月28日 (障害担当)	令和3年度における障害支援区分認定審査会の合議体の増設について
令和2年10月26日 (介護保険担当)	・介護認定支援システムの更新について ・審査の簡素化について
令和2年10月29日 (障害担当部会)	令和3年度における障害支援区分認定審査会の合議体の増設について

開催日	主な議題
令和3年1月20日 (介護保険担当)	・介護認定審査の簡素化について ・認定有効期間の延長の取り扱いについて ・令和3・4年度認定審査会委員の改選に伴う委嘱式の取り扱いについて ・新型コロナウイルスに対する審査会の対応について

エ 障がい者相談支援課部会

開催日	主な議題
令和2年8月5日	・自立支援協議会事務局GMの人選について ・施設従事者等による障がい者虐待の対応に係る様式の整理について
令和2年10月21日	・虐待案件の情報共有について ・自立支援協議会事務局GMの人選について
令和2年12月24日	・自立支援協議会事務局GMの人選について ・自立支援協議会の事業内容について
令和3年2月18日	自立支援協議会の事業内容の精査及び引継ぎについて

(7) 例規改正等の状況

区 分	事 項
条 例 (1件)	乙訓福祉施設事務組合職員の給与に関する条例の一部改正
規 則 (1件)	乙訓福祉施設事務組合職員の給与に関する条例施行規則の一部改正

2 議会に関する事項

(1) 会議の概要

① 本会議

区 分	開催月日	会期日数
	場 所	
令和2年 第2回 定例会 (6月)	6月25日	1日
	組合庁舎2階大会議室	
令和2年 第3回 定例会 (9月)	9月29日	1日
	組合庁舎2階大会議室	

令和2年 第4回 定例会 (11月)	11月30日	1日
	組合庁舎2階大会議室	
令和3年 第1回 定例会 (3月)	3月25日	1日
	組合庁舎2階大会議室	
計		4日

② 種類別議決状況

(単位：件)

区 分	条 例	予 算	決 算	人 事	専決 処分	決 議	そ の 他	計
原案可決	1	2					1	4
認 定			1					1
承 認					2			2
同 意				2				2
選挙その他							1	1
計	1	2	1	2	2		2	10

(2) 議会一般

(令和3年3月31日現在)

① 議員定数 定数 9人 現員数 9人

② 議員構成 (単位：人)

構成市町	議 長	副議長	監査 委員	議 員	計	備 考
向 日 市			1	2	3	
長岡京市		1		2	3	
大山崎町	1			2	3	

(3) 議員視察研修

新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し中止

3 監査に関する事項

令和2年度における検査、監査及び審査は以下のとおり実施した。

(1) 出納検査

実 施 日	検 査 対 象
令和2年 4月27日	令和元年度 3月分
5月27日	令和元年度 4月分 令和2年度 4月分
6月25日	令和元年度 5月分 令和2年度 5月分
7月27日	令和2年度 6月分
8月27日	令和2年度 7月分
9月29日	令和2年度 8月分
10月29日	令和2年度 9月分
11月30日	令和2年度 10月分
12月23日	令和2年度 11月分
令和3年 1月28日	令和2年度 12月分
2月22日	令和2年度 1月分
3月25日	令和2年度 2月分

(2) 定期監査

実 施 日	監 査 対 象
令和2年10月29日	総務課、介護障害審査課 若竹苑、ポニーの学校 障がい者相談支援課

(3) 決算審査

実 施 日	審 査 対 象
令和2年 7月27日	令和元年度一般会計

4 公平委員に関する事項

会議の状況

開催数

1回

開催日

令和3年3月5日

内容

- ・組合諸報告
- ・組合条例他
- ・その他

5 令和2年度決算の概要

(1) 決算の状況

(単位：円)

区 分	予算現額	収入済額	支出済額	差引残額
一般会計	449,574,000	449,780,797	433,619,630	16,161,167

① 歳入内訳

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度		令和元年度		比 較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
分 担 金	313,227	69.6	302,866	67.3	10,361	3.4
負 担 金	113,288	25.2	112,473	25.0	815	0.7
小 計	426,515	94.8	415,339	92.3	11,176	2.7
府 支 出 金	6,694	1.5	3,000	0.7	3,694	123.1
財 産 収 入	5,315	1.2	7,100	1.6	△ 1,785	△ 25.1
繰 越 金	9,271	2.1	22,739	5.0	△ 13,468	△ 59.2
諸 収 入	1,986	0.4	1,956	0.4	30	1.5
合 計	449,781	100.0	450,134	100.0	△ 353	△ 0.1

② 歳出内訳（目的別）

（単位：千円、％）

区 分	令和２年度		令和元年度		比 較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
議 会 費	1,580	0.4	1,234	0.3	346	28.0
総 務 費	66,101	15.2	74,667	16.9	△ 8,566	△ 11.5
民 生 費	365,939	84.4	364,962	82.8	977	0.3
合 計	433,620	100.0	440,863	100.0	△ 7,243	△ 1.6

③ 歳出内訳（事業別）

（単位：千円、％）

区 分	令和２年度		令和元年度		比 較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
議 会 費	1,580	0.4	1,234	0.3	346	28.0
総 務 費	66,101	15.2	74,667	16.9	△ 8,566	△ 11.5
民 生 費	365,939	84.4	364,962	82.8	977	0.3
若竹苑管理費	121,242	28.0	123,110	27.9	△ 1,868	△ 1.5
若竹苑授産 事業費	6,138	1.4	7,097	1.6	△ 959	△ 13.5
介護保険 認定事業費	79,905	18.4	81,880	18.6	△ 1,975	△ 2.4
障害支援区分 認定事業費	14,771	3.4	13,533	3.1	1,238	9.1
障害者相談支援 ネットワーク事業費	4,245	1.0	4,223	0.9	22	0.5
障がい者虐待防止・基幹 相談支援センター事業費	24,143	5.6	24,948	5.7	△ 805	△ 3.2
ポニーの学校 管理費	115,495	26.6	110,171	25.0	5,324	4.8
合 計	433,620	100.0	440,863	100.0	△ 7,243	△ 1.6

④ 歳出内訳（性質別）

（単位：千円、％）

区 分	令和２年度		令和元年度		比 較	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
人 件 費	339,438	78.3	340,480	77.2	△ 1,042	△ 0.3
物 件 費	62,617	14.4	59,879	13.6	2,738	4.6
維持補修費	2,468	0.6	2,555	0.6	△ 87	△ 3.4
補 助 費 等	27,187	6.3	35,215	8.0	△ 8,028	△ 22.8
投資的経費	1,910	0.4	2,734	0.6	△ 824	△ 30.1
合 計	433,620	100.0	440,863	100.0	△ 7,243	△ 1.6

* 補助費等は、報償費、負担金、保険料等で、最大のものは要介護度認定及び障害支援区分認定のかかりつけ医意見書作成謝礼（24,402千円）

(2) 債務負担行為に基づく支出額と次年度以降の支出予定額

（単位：千円、％）

契 約 内 容 (契約相手方)	契約期間	契約金額	令和元年度 未までの 支出済額	令和２年度 支出額	令和３年度 以降支出 予定額
要介護認定支援システムリース (ＩＢＪＬ東芝リース(株))	H28.6.1～R3.5.31	31,143	23,876	6,229	1,038
障害支援区分認定支援シ ステムリース（(株)リオス）	H31.4.1～R6.3.31	16,459	3,291	3,292	9,876
合 計		47,602	27,167	9,521	10,914

(3) 一時借入金の状況

令和2年度の一時借入金の借入実績は、なかった。

(4) 給与費の状況

① 一般職

(令和3年3月31日現在)

平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	職員数
307,366 円	387,171 円	39 歳 8 月	33 人

* 上記の職員数には会計年度任用職員・再任用職員は含まれない。

② 特別職

職 名	給料月額
管 理 者	11,000 円
副管理者	9,000 円

③ 議員

職 名	報酬月額
議 長	10,000 円
副 議 長	8,000 円
議 員	7,000 円

(5) 基金積立金明細書

(単位：円)

名 称	令和元年度末 現在高	令和2年度中		令和2年度末 現在高
		積立額	取崩額	
財政調整基金	2,007,247	20	0	2,007,267
施設整備基金	0	0	0	0
計	2,007,247	20	0	2,007,267

乙 訓 若 竹 苑

1 施設運営及び利用者支援の総括

就労継続支援(B型)事業では前年度に比べ、作業収入が全体で約190万円、平均工賃月額が1人約6,300円減少した。新型コロナウイルス感染拡大の影響から高齢者施設の清掃業務が中断し、大幅に収入が減少している。利用者数は退苑者1名、新規利用者1名で前年度と同数である。今後は作業収入の復調に向け、新たな作業種目の開拓や、自主製品の開発を進めるとともに加齢からくる生活環境の変化を見据え、個々に応じた支援がさらに必要となってきた。

生活介護事業では、アルミ缶リサイクル、自主製品づくりや畑作業、ウォーキング、創作活動などを行った。自主製品では、マスクの販売が収入の増加に大きくつながった。創作活動においては、他事業所主催の作品展や公募の作品展にも出展した。昨年度から始まった京都府立向日が丘支援学校高等部との交流は感染予防のためオンラインでの実施となったが、授業や作業の様子を画面上で互いに紹介するなどし、新たな手法として展開できる可能性を見いだせた。

地域活動支援センター事業では土曜日に新たな余暇の取り組みとして、一般就労もしくは、就労系の事業所利用者を主な対象とした「ふれあいサロン」を実施した。平日については感染拡大防止のため、行事や季節イベントの内容を変更して行った。今後もプログラムの内容は利用者像や社会状況を見ながら検討する。

日中一時支援事業では、支援学校の生徒を中心に利用が増えてきている。なお、緊急時における利用は1件であった。

相談支援事業では、36名の計画相談を実施した。新規の相談は身体障がい、精神障がいの方が多く、サービス利用するための計画相談で対応した。また介護保険への移行や施設入所に伴い、計画相談を終了するケースもあった。

2 若竹苑共通事項

(1) 行事等の実施状況

実 施 日	内 容
5月19日・7月21日 9月25日・11月18日 2月3日・3月18日	シェイクアウト訓練
6月12日	防災避難訓練
6月15日～22日	結核検診
7月2日・9日	歯科検診
9月30日	保健衛生講話

実 施 日	内 容
11月18日	防災避難訓練
3月29日	内科健診
3月30日	保健衛生講話

(2) 給食の実施状況

① 給食委員会

- ・実施回数 年間6回(奇数月)
- ・参加者 (株)城南給食センター 栄養士、調理師
乙訓若竹苑 支援員、利用者

② 喫食数

月	実施日	食 数	月	実施日	食 数
4月	21日	942	10月	22日	1,041
5月	18日	843	11月	19日	933
6月	22日	1,096	12月	20日	959
7月	21日	1,059	1月	19日	900
8月	19日	876	2月	18日	777
9月	20日	956	3月	23日	992

- ・年間給食実施日 242日(前年度 241日)
- ・年間合計食数 11,374食(前年度 11,940食)
- ・1日平均食数 47食(前年度 50食)

(3) 職員研修の実施状況

① 主な派遣研修

実 施 日	内 容	人数(人)
8月25日	市町村職員共同研修「ロジカルシンキング」	1
9月16日	市町村職員共同研修「健康な職場をつくるメンタルヘルスケア」	1
10月19日・28日	精神障害者の障害特性及びこれに応じた支援技法等に関する研修	1
11月5日～6日	京都府強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	1
11月18日	就労支援フォーラムNIPPON	1
12月1日	知的障害のある犯罪行為者への支援を学ぶ研修会	1
12月12日	京都府自閉症協会ZOOM研修「問題行動について」	1
12月14日	若年性認知症支援における障害・介護連携実践研修	1
12月15日	京都府相談支援従事者初任者研修	1
12月16日	成年後見制度利用促進体制整備に向けた合同勉強会	1

2月8日	京都府相談支援従事者現任研修	1
3月16日	虐待の防止と身体拘束・行動制限の廃止を考える研修会	1
3月17日	福祉サービス苦情解決事業相談研修会	1

② 主な内部研修

実 施 日	テ ー マ
7月28日	障害者虐待防止研修会
12月10日	日々の支援の振り返り
12月17日	精神障がいの基礎知識と支援方法

(4) 実習・見学の受け入れ

- | | |
|----------------|------|
| ① 社会福祉援助技術現場実習 | 4 人 |
| ② 保育実習 | 2 人 |
| ③ 特別支援学校高等部実習 | 4 人 |
| ④ 長岡京市役所新人職員研修 | 12 人 |
| ⑤ その他見学 | 1 人 |

(5) 出席率

(%)

月	就労継続	生活介護
4月	85.0	83.8
5月	88.5	87.8
6月	93.5	98.2
7月	91.8	94.3
8月	89.3	97.9
9月	95.0	94.0
10月	92.9	100.0
11月	92.4	97.9
12月	92.1	97.0
1月	90.6	100.0
2月	84.1	97.8
3月	92.7	79.1
平均	90.7	94.0

(6) 苦情解決制度の利用 0 件

(7) ボランティアの受け入れ 地域活動支援センター 書道指導 1 人

3 就労継続支援B型事業

(1) 年間開所日数 241日 (前年度 241日)

(2) 利用者の状況

① 利用者数 (定員34人 毎月末人数)

(人)

月	向日市	長岡京市	大山崎町	計
4月	5	20	3	28
5月	5	20	3	28
6月	5	20	3	28
7月	5	20	3	28
8月	5	20	3	28
9月	5	20	3	28
10月	5	20	3	28
11月	5	21	3	29
12月	5	21	3	29
1月	5	20	3	28
2月	5	20	3	28
3月	5	20	3	28
計	60	242	36	338

1日平均利用者数 25.3人 (前年度 25.2人)

② 年齢・性別の状況 (令和3年3月31日現在)

(人)

	18歳 ～19歳	20歳 ～24歳	25歳 ～29歳	30歳 ～34歳	35歳 ～39歳	40歳 ～44歳	45歳 ～49歳	50歳 ～54歳	55歳以上	計	平均年齢
男	0	1	2	4	1	3	6	2	0	19	40歳
女	1	0	0	0	3	3	1	0	1	9	40歳
計	1	1	2	4	4	6	7	2	1	28	40歳

③ 在苑期間の状況 (令和3年3月31日現在)

(人)

	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	計	1人当たり 平均在苑期間
男	1	1	3	6	1	7	19	16年3ヵ月
女	0	1	0	2	1	5	9	17年0ヵ月
計	1	2	3	8	2	12	28	16年2ヵ月

④ 一般就労者 なし

⑤ 他事業所への移行 1人

(3) その他

① 作業収入

(円)

月	介護事業所 室内清掃	下請軽作業	墓掃除・除草	自主製品	計
4月	98,200	159,190	29,000	25,950	312,340
5月	36,000	309,215	144,000	38,650	527,865
6月	43,200	143,440	44,000	9,500	240,140
7月	40,800	223,370	41,000	4,050	309,220
8月	36,000	148,318	228,900	0	413,218
9月	38,400	146,032	65,000	7,700	257,132
10月	43,200	352,240	38,000	186,265	619,705
11月	40,800	171,607	104,000	200	316,607
12月	38,400	457,696	60,300	19,750	576,146
1月	38,400	186,364	5,000	9,069	238,833
2月	38,400	287,923	5,000	62,195	393,518
3月	175,600	319,659	155,000	19,671	669,930
計	667,400	2,905,054	919,200	383,000	4,874,654

前年度 作業収入合計 6,862,957円

② 作業工賃 (平均月額 13,551円)

	作業工賃(円)	受給者数(人)	平均月額(円)
4月	332,420	27	12,311
5月	300,965	26	11,575
6月	362,045	28	12,930
7月	382,280	28	13,652
8月	300,800	28	10,742
9月	330,330	28	11,797
10月	359,970	28	12,856
11月	314,460	29	10,843
12月	336,035	29	11,587
一時金	197,600	28	7,057
1月	288,475	28	10,302
2月	261,185	26	10,045

	作業工賃(円)	受給者数(人)	平均月額(円)
3月	350,490	28	12,517
一時金	395,500	28	14,125
計	4,512,555	※333	162,339

前年度 作業工賃合計 6,610,675 円 平均月額 19,852 円

※ 一時金の受給者数は含まない延人数。

③ バザー等の実施状況

(円)

日 程	名 称	場 所	売 上 額
9月3日	きりしま苑秋のフェスタバザー	きりしま苑	2,100
12月5日	人権を考える市民のひろば	長岡京市立中央公民館	1,100
3月1日	きりしま苑バザー	きりしま苑	9,200
常設販売	ほっこりんぐ売り上げ(計5回)	長岡京市役所他	5,100
常設販売	ほっとはあと店舗売り上げ等		19,085
その他	その他自主製品売り上げ		346,415
合 計			383,000

前年度 売り上げ合計 226,738 円

④ レクリエーション等の実施状況

新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、実施せず。

4 生活介護事業

(1) 年間開所日数 242日 (前年度 241日)

(2) 利用者の状況

① 利用者数(定員6人 毎月末人数)

(人)

月	向日市	長岡京市	大山崎町	計
4月	1	4	0	5
5月	1	4	0	5
6月	1	4	0	5
7月	1	4	0	5
8月	1	4	0	5
9月	1	4	0	5
10月	1	4	0	5
11月	1	4	0	5
12月	1	4	0	5
1月	1	4	0	5

2月	1	4	0	5
3月	1	4	0	5
計	12	48	0	60

1日平均利用者数 4.7人 (前年度 5.7人)

② 年齢・性別の状況 (令和3年3月31日現在)

(人)

	18歳 ～19歳	20歳 ～24歳	25歳 ～29歳	30歳 ～34歳	35歳 ～39歳	40歳 ～44歳	計	平均年齢
男	0	0	0	2	0	2	4	37歳
女	0	0	0	0	0	1	1	40歳
計	0	0	0	2	0	3	5	37歳

③ 在苑期間の状況 (令和3年3月31日現在 ※旧法時代を含む)

(人)

	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	計	1人当たり 平均在苑期間
男	0	0	0	2	0	2	4	21年 3ヵ月
女	0	0	0	0	0	1	1	21年 2ヵ月
計	0	0	0	2	0	3	5	21年 2ヵ月

(3) 生活介護事業の取り組みの状況

① 日課

- ・生産活動：手工芸製品作り(布製品・ビーズ製品・染製品など)
畑作業(季節の野菜・多肉植物など)
アルミ缶回収によるリサイクル活動など
- ・生活訓練的活動：掃除・洗濯・着替え・配膳下膳など
- ・身体機能の維持活動：ウォーキング・軽運動など

② 健康管理

看護師による月1回のバイタルチェック(体重・血圧・BMI)と健康相談内容の管理。
歯科衛生士の指導のもと、昼食後の歯磨き介助を実施。

③ 社会的・文化的経験

- ・関係事業所の作品展「アートフェスタ」・「とっておきの芸術祭」
「かんでんコラボ」・「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」に出展。
- ・他係の利用者や職員とレクリエーションを通じて交流を図った。
- ・季節行事「夏祭り」「仮装パーティー」を係内で実施した。

④ その他

- ・口腔ケア 年度内6回実施(歯科衛生士による口腔内衛生指導)

- ・工賃支給 年2回実施（総計 234,260 円/年 1人平均 46,852 円/年）
- ・個別支援計画の説明 年2回実施

5 地域活動支援センター事業

(1) 年間開所日数 246日（前年度 248日）

(2) 利用者の状況

① 年度末登録者数 24人（内訳 向日市6人 長岡京市17人 大山崎町1人）

② 利用実績（1日利用定員15人）

	向日市		長岡京市		大山崎町		計	
月	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数
4月	3	28	15	81	1	11	19	120
5月	3	28	14	81	1	14	18	123
6月	5	55	18	102	1	16	24	173
7月	5	56	16	97	1	14	22	167
8月	5	43	15	82	1	10	21	135
9月	6	51	16	81	1	12	23	144
10月	5	47	17	99	1	14	23	160
11月	6	39	17	85	1	6	24	130
12月	5	46	17	85	1	5	23	136
1月	5	40	12	70	1	7	18	117
2月	4	35	11	54	1	5	16	94
3月	5	48	13	54	1	8	19	110
計	57	516	181	971	12	122	250	1,609

前年度 利用者数(延べ人数) 218人
利用回数(延べ回数) 2,085回

③ 1日平均利用者数 6.5人（前年度 8.4人）

④ 登録者の年齢・性別（令和3年3月31日現在）

(人)

	18歳 ～19歳	20歳 ～29歳	30歳 ～39歳	40歳 ～49歳	50歳 ～59歳	60歳以上	計	平均年齢
男	0	1	3	0	4	0	8	42歳
女	1	2	4	4	4	1	16	39歳
計	1	3	7	4	8	1	24	40歳

(3) 地域活動支援センター事業の取り組みの状況

① 毎日の創作活動（書道・手芸・塗り絵など）

② 外出（買い物・散歩など）

③ 健康管理（健康相談・口腔ケアなど）

④ アルミ缶リサイクル

⑤ 定期面談

⑥ 工賃に関わる活動

収入から経費を引いた額を工賃として支給。

- ・ アルミ缶収入 (30,663円)
 - ・ 自主製品販売(小物入れ等) (37,337円)
- 工賃1人平均 4,533円(年)

6 日中一時支援事業

(1) 年間開所日数 246日 (前年度 248日)

(2) 利用者の状況

① 年度末登録者数 55人 (内訳 向日市22人 長岡京市29人 大山崎町4人)
(前年度末登録者数 53人)

② 年度内実利用者数 44人 (※年度内実利用者とはその年度に1回以上利用した人)
(前年度内実利用者数 48人)

③ 利用実績 (1日利用定員5人+緊急時枠1人)

	向日市			長岡京市			大山崎町			計		
月	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用時間 (h)	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用時間 (h)	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用時間 (h)	利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用時間 (h)
4月	12	24	69	15	36	101	3	4	21	30	64	191
5月	9	21	58	16	37	108	2	3	15	27	61	181
6月	12	28	71	19	47	127	2	3	15	33	78	213
7月	13	29	77	20	48	127	2	3	15	35	80	219
8月	13	23	64	19	44	122	2	3	15	34	70	201
9月	15	32	81	19	49	130	2	3	15	36	84	226
10月	14	27	64	20	49	135	2	3	15	36	79	214
11月	14	30	76	19	45	111	2	3	15	35	78	202
12月	14	30	82	18	46	125	2	3	15	34	79	222
1月	16	33	86	18	44	108	1	2	9	35	79	203
2月	14	33	82	21	50	127	2	3	15	37	86	224
3月	14	32	82	19	43	109	2	3	15	35	78	206
計	160	342	892	223	538	1,430	24	36	180	407	916	2,502

前年度 利用者数(延べ人数) 400 人
 利用回数(延べ回数) 861 回
 利用時間数(延べ時間数) 2,259 時間

過去5年間の利用状況

	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	備考
1日利用定員(人)	4	5+〈1〉	5+〈1〉	5+〈1〉	5+〈1〉	〈 〉内は緊急時枠
月平均利用者数(人)	39.0	37.8	36.9	33.6	33.9	年間利用人数を12で除したもの
1日平均利用人数(人)	4.3	3.6	3.8	3.5	3.7	年間利用回数を開所日で除したもの
1人当たり月平均利用回数(回)	2.3	1.9	2.1	2.1	2.3	年間利用回数を年間利用者数で除したもの
1人当たり1回平均利用時間(時間)	2.5	2.7	2.6	2.6	2.7	年間利用時間を利用回数で除したもの
1人当たり月平均利用時間(時間)	5.7	5.1	5.5	5.6	6.1	年間利用時間を利用人数で除したもの

④ 登録者の年齢・性別(令和3年3月31日現在)

(人)

	13歳 ～15歳	16歳 ～18歳	19歳 ～24歳	25歳 ～30歳	31歳 ～40歳	41歳以上	計	平均年齢
男	6	3	5	9	7	3	33	26歳
女	0	1	3	4	8	6	22	34歳
計	6	4	8	13	15	9	55	29歳

(3) 日中一時支援事業における支援の内容

- ① 一時的な見守り(家庭における介護者の介護軽減・就労の援助等)
- ② 食事や排せつ・送迎などの支援
- ③ ケアマネジメント会議等への出席
- ④ 利用相談・調整

7 相談支援事業

(1) 実施件数 (計画作成35件、モニタリング実施件数93件)

(件)

	向日市		長岡京市		大山崎町		計	
月	計画作成	モニタリング	計画作成	モニタリング	計画作成	モニタリング	計画作成	モニタリング
4月	2	1	4	2	1	4	7	7
5月	0	1	0	5	0	3	0	9
6月	1	2	1	4	0	1	2	7
7月	1	2	1	2	0	2	2	6
8月	0	1	1	4	0	2	1	7
9月	1	3	4	6	2	3	7	12
10月	0	3	0	3	0	2	0	8
11月	1	2	1	4	2	1	4	7
12月	1	1	0	3	1	1	2	5
1月	1	2	2	3	1	4	4	9
2月	1	3	1	5	0	2	2	10
3月	1	1	3	3	0	2	4	6
計	10	22	18	44	7	27	35	93

前年度 計画作成32件、モニタリング実施件数105件

(2) 契約者の内訳 (契約者数36人 ※前年度末 契約者数 38人)

(人)

		向日市	長岡京市	大山崎町	計
乙訓若竹苑	就労継続	2	11	3	16
	生活介護	0	1	0	1
	地域活動	2	2	1	5
その他		3	8	3	14
計		7	22	7	36

介護障害審査課

向日市、長岡京市、大山崎町で受付・受理された要介護認定申請及び障害支援区分認定申請について、各市町が行った認定調査及び一次判定、並びに主治医意見書に基づき、公平公正な二次判定を行うと共に、円滑で効率的な介護認定審査会及び障害支援区分認定審査会の運営に努めた。

1 介護保険認定事業

(1) 介護認定審査会（合議体）の開催

228回の審査会（合議体）を開催し、4,462件の二次判定を行った。

（詳細については、資料1のとおり）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アクリル板設置等十分な感染対策を行った上で開催した。なお、感染状況等に応じて、適宜書面方式により開催した。

- ・審査会委員数 76名、任期2年（令和元年度・2年度）
- ・審査会委員 保健・医療・福祉に関する学識経験者等
- ・合議体数 19合議体（各合議体：4名）
- ・書面方式実施期間：令和2年5月15日～令和2年10月28日
令和3年1月20日～令和3年 3月 8日

(2) 介護認定審査会運営委員会

第1回目から第4回目までは従来の会議方式ではなく、緊急的に、審査会委員全員に対しての書面による意見聴取という形で実施した。

審査会の開催方法について、原則対面方式ではあるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、社会情勢の変化に対応するように書面方式の導入を決定した。

要介護認定に係る認定審査会の簡素化について、令和3年度以降の申請件数の増加が見込まれることから、認定審査会の負担軽減を図ることを目的に導入を決定した。

第1回目：令和2年4月28日（火）書面開催

内 容：介護認定審査会の開催方法について
書面方式による審査判定要項について

対象者：介護認定審査会会長、会長職務代理者
19合議体の長及び職務代理者、その他の審査会委員

第2回目：令和2年7月8日（水）書面開催

内 容：令和2年8月以降の介護認定審査会の開催方法について
対象者：介護認定審査会会長、会長職務代理者

19合議体の長及び職務代理人、その他の審査会委員

第3回目：令和2年9月25日（金）書面開催

内 容：令和2年11月以降の介護認定審査会の開催方法について

対象者：介護認定審査会会長、会長職務代理人

19合議体の長及び職務代理人、その他の審査会委員

第4回目：令和3年1月13日（水）書面開催

内 容：緊急事態宣言の発出に伴う審査会の開催方法の変更について

対象者：介護認定審査会会長、会長職務代理人

19合議体の長及び職務代理人、その他の審査会委員

第5回目：令和3年1月27日（水）開催

場 所：乙訓福祉施設事務組合

内 容：令和3年度からの審査の簡素化について

制度改正による更新申請における認定有効期間の見直しについて

今後の審査方法の変更について（書面方式 → 対面方式）

出席者：介護認定審査会会長、会長職務代理人等

（出席者以外は書面にて意見を聴取した上で開催）

(3) 介護認定審査会委員等研修

① 介護認定審査会新任委員研修（京都府主催）

日 時：令和2年8月23日（日） 13：30～17：10

場 所：ホテルルビノ京都堀川「平安の間」

内 容：介護認定審査会委員の業務について

要介護認定について

出席者：4名（審査会委員1名、事務局職員3名）

② 介護認定審査会新任委員の審査会事前研修（介護障害審査課主催）

任期途中の辞任に伴う新任委員の就任への対応として実施した。要介護認定についての理解を深め、円滑な審査判定が行えるようにするために開催した。

日 時：令和2年12月23日（火） 10：00～12：00

場 所：乙訓福祉施設事務組合

内 容：介護認定審査会の概要説明

審査会に関する情報提供

出席者：1名

③ 京都府介護認定平準化研修（京都府主催）

日 時：令和3年1月22日（金）～1月28日（木）

(動画配信による研修)

内 容：京都府における要介護認定者数の状況等について
介護の手間にかかる審査判定の留意点について
出席者：23名（審査会委員18名、事務局職員5名）

④ 介護認定審査会新任委員研修（介護障害審査課主催）

令和3年4月から新たに就任する審査会委員を対象に、審査判定に関する研修会を開催し、介護障害審査課職員が実際の審査会資料をもとに説明・解説を行った。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、分散開催とした。

日 時：令和3年3月 8日（月） 14:00～16:00
令和3年3月 9日（火） 14:00～16:00
令和3年3月11日（木） 9:30～11:30
令和3年3月11日（木） 14:00～16:00
令和3年3月12日（金） 14:00～16:00

場 所：乙訓福祉施設事務組合

内 容：介護認定審査会について
要介護認定の審査判定手順について

出席者：21名

(4) 介護認定審査会に関する職員研修

① 認定調査員初任者研修（京都府主催）

日 時：令和2年5月26日（火）～6月5日（金）の期間内
（動画視聴研修）

内 容：認定調査の基本的な考え方
能力で評価する調査項目について
介助の方法で評価する調査項目について
有無で評価する調査項目について

出席者：1名

② 認定調査員現任研修（京都府主催）

日 時：令和2年11月11日（水）～11月18日（水）
（動画視聴研修）

内 容：認定調査の留意点等について
認定調査について

出席者：4名

③ 「無料講座 すぐに役立つ介護教室」

介護認定審査会の事務局職員として、認知症の方への知識を身につけることや実際の介護の体験を目的に参加した。

日 時：令和2年11月25日（水） 10：30～15：00

場 所：京都福祉サービス協会 人材研修センター

内 容：認知症について
介護実技研修

出席者：1名

(5) 乙訓地域包括ケアシステム推進交流会（乙訓医師会主催）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、開催なし。

2 障害支援区分認定事業

(1) 障害支援区分認定審査会（合議体）開催

24回の審査会（合議体）を開催し、254件の二次判定を行った。

（詳細については、資料2のとおり）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アクリル板設置等十分な感染対策を行った上で開催した。なお、感染状況等に応じて、適宜書面方式により開催した。

- ・審査会委員数 10名、任期2年（令和元年度・2年度）
- ・審査会委員 障害保健福祉の学識経験を有する者等
- ・合議体数 2合議体（各合議体：5名）
- ・書面審査実施期間：令和2年5月26日～令和2年8月25日
令和3年1月26日～令和3年2月16日

(2) 障害支援区分認定審査会運営委員会

従来の会議方式ではなく、緊急的に、審査会委員全員に対しての書面による意見聴取という形で実施した。

審査会の開催方法について、原則対面方式ではあるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、社会情勢の変化に対応するように書面方式の導入を決定した。

審査会の体制について、3年に一度の更新年の申請件数に対応するため、令和3年度より2合議体から3合議体に増設することを確認した。

第1回目：令和2年5月18日（月）書面開催

内 容：障害支援区分認定審査会の開催方法の変更について

対象者：障害支援区分認定審査会会長、会長職務代理者、認定審査会委員

第2回目：令和2年7月16日（木）書面開催

内 容：令和2年8月以降の開催方法について

対象者：障害支援区分認定審査会会長、会長職務代理者、認定審査会委員

第3回目：令和2年9月18日（金）書面開催

内 容：令和3年度以降の審査会の体制について

対象者：障害支援区分認定審査会会長、会長職務代理者、認定審査会委員

第4回目：令和3年1月13日（水）書面開催

内 容：緊急事態宣言の発出に伴う審査会の開催方法の変更について

対象者：障害支援区分認定審査会会長、会長職務代理者、認定審査会委員

(3) 障害支援区分認定審査会委員研修

障害支援区分認定審査会委員研修（介護障害審査課主催）

令和3年4月から就任する審査会委員を対象に、審査判定に関する研修会を開催した。なお、講師には審査会委員の経験が豊富な医師及び福祉専門職を招いた。

日 時：令和3年3月17日（水） 13：30～15：30

場 所：乙訓福祉施設事務組合

内 容：障害支援区分認定審査会について
事例を通しての審査判定について

出席者：5名（現任委員1名を含む）

(4) 障害支援区分認定に関する職員研修

① 障害支援区分認定調査員研修（京都府主催）

障害支援区分認定審査会に関わる事務局職員としての資質向上を目的に参加した。

日 時：令和2年7月17日（金） 13：00～17：00

場 所：京都テルサ 東館2階 セミナー室

出席者：2名

② 若竹苑見学（施設見学）

審査会における議事を的確に記録する能力を養成するため、支援の現場体験を実施した。

日 時：令和2年9月2日（水） 9：00～17：00

場 所：乙訓福祉施設事務組合

出席者：1名

令和 2 年度介護認定審査会 審査判定結果

1 合議体開催回数 228 回

2 審査判定結果

市町名	審査件数	「一次→二次」変更				非該当	要支援		要介護				
		変更件数		重度変更	軽度変更		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
		件数	変更率										
				件数	変更率		件数	変更率	件数	変更率	件数	変更率	件数
向日市	1,697	223	13.1%	204	19	8	312	179	342	263	233	201	159
長岡京市	2,338	306	13.1%	283	23	12	328	344	460	415	292	276	211
大山崎町	427	87	20.4%	78	9	3	67	40	109	70	57	51	30
合計	4,462	616	13.8%	565	51	23	707	563	911	748	582	528	400

新規	1,489 件	}	合計4,462件
更新	2,078 件		
変更	895 件		

令和2年度障害支援区分認定審査会 審査判定結果

資料2

1 合議体開催回数 24 回

2 審査判定結果

市町名	審査件数	「一次→二次」変更				障害支援区分						
		変更件数		軽度変更	重度変更	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
		件数	変更率									
向日市	94	20	21.3%	20	0	0	0	14	22	25	10	23
長岡京市	128	26	20.3%	26	0	0	0	16	40	21	15	36
大山崎町	32	1	3.1%	1	0	0	0	5	6	4	7	10
合 計	254	47	18.5%	47	0	0	0	35	68	50	32	69

新規 91 件
更新 158 件
変更 5 件
合計 254件

介護認定審査会 過去5年間に於ける審査判定結果の推移（平成28年度～令和2年度）
二市一町合計件数

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	要支援		要介護					
		変更件数		軽度変更		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
		件数	変更率										
平成28年度	6,278	981	15.6%	877	104	45	970	1,064	1,208	987	724	695	585
平成29年度	6,744	1,054	15.6%	915	139	40	1,018	1,130	1,270	1,067	818	759	642
平成30年度	5,509	902	16.4%	777	125	29	617	673	1,132	1,010	738	704	606
令和元年度	6,963	1,010	14.5%	899	111	37	1,145	1,058	1,357	1,070	831	825	640
令和2年度	4,462	616	13.8%	565	51	23	707	563	911	748	582	528	400

向日市

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	要支援		要介護					
		変更件数		軽度変更		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
		件数	変更率										
平成28年度	2,245	334	14.9%	308	26	8	337	352	441	369	265	269	204
平成29年度	2,314	363	15.7%	319	44	8	337	350	455	382	293	275	214
平成30年度	1,966	308	15.7%	264	44	8	251	211	391	389	240	249	227
令和元年度	2,442	347	14.2%	317	30	5	419	301	510	370	313	296	228
令和2年度	1,697	223	13.1%	204	19	8	312	179	342	263	233	201	159

長岡京市

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	要支援		要介護					
		変更件数		軽度変更		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
		件数	変更率										
平成28年度	3,318	486	14.6%	418	68	31	489	612	623	525	372	350	316
平成29年度	3,706	550	14.8%	471	79	30	564	667	667	578	430	406	364
平成30年度	2,954	477	16.1%	406	71	15	307	404	614	524	414	363	313
令和元年度	3,799	520	13.7%	457	63	28	603	642	709	611	431	433	342
令和2年度	2,338	306	13.1%	283	23	12	328	344	460	415	292	276	211

大山崎町

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	要支援		要介護				
		変更件数		軽度変更		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
		件数	変更率									
平成28年度	715	161	22.5%	151	10	144	100	144	93	87	76	65
平成29年度	724	141	19.5%	125	16	117	113	148	107	95	78	64
平成30年度	589	117	19.9%	107	10	59	58	127	97	84	92	66
令和元年度	722	143	19.8%	125	18	123	115	138	89	87	96	70
令和2年度	427	87	20.4%	78	9	67	40	109	70	57	51	30

障害支援区分認定審査会 過去5年間に於ける審査判定結果の推移（平成28年度～令和2年度）
二市一町合計件数

参考資料

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	障害支援区分					
		変更件数		軽度変更		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
		件数	変更率								
平成28年度	253	31	12.3%	31	0	0	40	49	37	37	90
平成29年度	207	34	16.4%	33	1	0	23	54	41	27	60
平成30年度	408	64	15.7%	64	0	0	26	69	55	78	180
令和元年度	255	43	16.9%	43	0	0	1	38	51	41	92
令和2年度	254	47	18.5%	47	0	0	0	35	68	50	69

向日市

年度	審査件数	「一次→二次」変更				非該当	障害支援区分					
		変更件数		軽度変更	区分1		区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
		件数	変更率									
平成28年度	81	16	19.8%	16	0	0	0	10	16	9	11	35
平成29年度	73	10	13.7%	9	1	0	0	7	21	20	9	16
平成30年度	141	33	23.4%	33	0	0	0	6	25	16	38	56
令和元年度	81	14	17.3%	14	0	0	0	10	15	11	8	37
令和2年度	94	20	21.3%	20	0	0	0	14	22	25	10	23

長岡京市

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	障害支援区分						
		変更件数		軽度変更		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	
		件数	変更率									
平成28年度	145	13	9.0%	13	0	0	22	33	21	24	45	
平成29年度	104	15	14.4%	15	0	0	2	12	25	16	15	34
平成30年度	224	16	7.1%	16	0	0	0	15	37	36	32	104
令和元年度	148	22	14.9%	22	0	0	1	23	31	28	19	46
令和2年度	128	26	20.3%	26	0	0	0	16	40	21	15	36

大山崎町

年度	審査件数	「一次→二次」変更			非該当	障害支援区分					
		変更件数		軽度変更		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
		件数	変更率								
平成28年度	27	2	7.4%	2	0	0	8	0	7	2	10
平成29年度	30	9	30.0%	9	0	0	4	8	5	3	10
平成30年度	43	15	34.9%	15	0	0	5	7	3	8	20
令和元年度	26	7	26.9%	7	0	0	5	5	2	5	9
令和2年度	32	1	3.1%	1	0	0	5	6	4	7	10

障がい者相談支援課

乙訓障がい者基幹相談支援センターを設置し、総合相談業務並びに障がい者虐待防止センター、障がい者自立支援協議会事務局等の各事業を行う。

1 乙訓障がい者基幹相談支援センター

地域における障がい児・者相談支援について、総合的な見地から以下の活動を行った。

(1) 地域の相談支援事業者等に対する専門的な指導、助言

相談支援事業所や市町からの相談及び本人や家族からの直接相談の件数は、下表のとおりである。

なお、対応の仕方は、依頼による各種会議への出席、継続的な訪問・面接等による直接対応等がある。

延べ相談件数（令和2年度）

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	令和元年度	平成30年度
市町	3	5	6	2	6	5	7	6	4	2	1	6	53	70	64
事業所	3	5	15	17	3	10	15	5	7	6	6	22	114	142	183
直接	5	11	8	3	7	6	13	4	9	6	4	5	81	76	54
その他	1	0	6	1	2	1	2	6	7	0	0	0	26	62	43
計	12	21	35	23	18	22	37	21	27	14	11	33	274	350	344
令和元年度	32	39	28	34	21	21	28	26	21	26	18	56	350		
平成30年度	49	34	37	45	25	32	25	26	12	33	11	15	344		

(2) 地域の相談支援事業者の人材育成支援

相談支援事業所の職員等を対象として資質向上を目的に研修を実施した。

日 時 令和2年10月14日（水）14:00～15:45

場 所 乙訓福祉施設事務組合

講 師 たかはたクリニック院長 高畑 龍一 医師

内 容 「精神障害者の特性とその支援方法を学ぶ」

参加人数 18名

(3) 地域移行・地域定着に関する取り組み

乙訓圏域障がい者自立支援協議会の中に設置された「精神障がい者地域生活支援プロジェクト」に参加し、精神障がい者への様々な支援方法について協議を行った。

(4) 職員派遣研修

7月13日 京都府こころの健康セミナー（ギャンブル依存症セミナー）

7月30日 京都府こころの健康セミナー（摂食障害セミナー）

- 8月28日 成年後見制度利用促進に関する勉強会
- 9月29日 成年後見制度利用促進体制整備に向けた合同勉強会の打ち合わせ
- 11月19日 令和2年度福祉サービス苦情解決事業セミナー
- 11月26日 内部研修の充実と外部研修の活用
- 12月16日 令和2年度第2回成年後見制度利用促進体制整備に向けた合同勉強会
- 1月22日 令和2年度福祉職場における「傾聴」の基礎を実習で学ぶセミナー
- 3月1日 「家族が求める家族支援」研修会

(5) その他

① 障がい者の権利擁護の推進

虐待防止センターと協力し、成年後見制度の啓発等、障がい者の権利擁護に取り組んだ。

② 自立支援協議会の運営委員として各種部会等に参加した。

相談支援プロジェクト	2ヶ月に1回（プロジェクト副委員長）、他打合せ会を適宜開催 プロジェクト内の入浴に関するワーキングチームに参加
精神障がい者地域生活支援プロジェクト	2ヶ月に1回、定例会

2 乙訓圏域障がい者自立支援協議会事務局

京都府から「障害者相談支援ネットワーク整備推進事業」を受託し、自立支援協議会の運営や障がい福祉に関する様々な事業を実施した。

(1) 地域の障がい者に関連する、支援ネットワークの推進

① 乙訓圏域障がい者自立支援協議会の事務局として、全体会及び部会等の円滑な運営と課題の解決を図るため、必要な調整を行っている。

- ・全体会 1回開催（新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、書面開催とした）
乙訓圏域の障がい者に関わる34機関・団体に構成
- ・運営委員会 9回開催
行政機関と相談支援の委託を受けた10事業所で定例会を開催し、協議すべき課題や支援策の検討、部会の進め方について協議を行った。
- ・部会等
「医療的ケア」委員会 4回開催
乙訓圏域にある3つの病院と「医療的ケア児者・重症心身障害児者短期入所受入体制拡充事業」の実施に向けた意見交換会を実施した。
また、重症心身障害児者等コーディネーターを招いて勉強会を行った。
医療的ケア児等コーディネーター研修のフォローアップとして、修了者を対象とし

た交流会の開催に向け、役割や課題の把握のためのアンケートを行い、とりまとめとフィードバックを行った。

就労支援部会 4回開催

新型コロナウイルス感染の影響で、中止になった実習先もあったが、大山崎町役場での庁内実習を実施した。なお、今後庁内実習を継続的にまた円滑に実施するため、「庁内実習実施要領」を作成した。

圏域の就労継続支援事業所へ就労支援のあり方に関するアンケート調査を行い、また他県にある先進的な取り組みを行っている施設の視察を行った。

人材確保・育成部会準備会 5回開催

令和3年度の部会設置に向けて、圏域内の障がい者福祉事業所の人材確保の現状や取り組み、人材育成のノウハウについて報告し合った。圏域内に求職者を呼び込むためのアプローチ方法など課題を共有し、圏域での定着率の向上を目指すことを確認した。

相談支援プロジェクト 4回開催

相談支援に対する疑問や問題点について意見を出し合い、令和3年度は相談支援専門員の業務の水準向上や一定の均等化を目的としたスキルアップに向けた研修を実施することを確認した。

また、令和元年度に設置した入浴のワーキングチームでは、引き続き入浴設備のある施設の利用状況や障がい者利用の調査を行い、利用促進に向けた取り組みを行うことも確認した。

喀痰吸引等研修プロジェクト 11月28日、29日実施（2日間）

介護職員認定研修事業として、「医療的ケア」に関する講義や実技を（福）乙訓福祉会と共催で実施した。（受講者32名）

精神障がい者地域生活支援プロジェクト 4回開催

継続的で有効な支援について検討するため、事例を通して、支援関係が築けないケースへのアプローチ方法や家族関係について課題を共有、意見交換を行い、どんな取り組みが現実的に可能なのかを協議した。

また、啓発活動としてNPO法人「乙訓もも」と共催して「ひきこもり」についての講演会を開催した。

② 各種機関とのネットワークづくりの推進

二市一町の障害福祉計画策定委員会、乙訓特別支援連携協議会、各種研修会、乙訓圏域障がい者就労ネットワーク「たけのこ」、相談支援事業所連絡会等に参加し、障がい者のネットワークの構築を推進した。

(2) 情報の公開

乙訓圏域障がい者自立支援協議会のホームページを随時更新し、広報や情報公開に努めた。

(3) 事務局事業

福祉人材の職場定着を図るため乙訓圏域事業所の新任職員を対象にした「新任職員連続講座」を開催した。

10月 1日 「京都府立向日が丘支援学校の一日」 参加者30名

10月 8日 「障がい者入所施設の一日」 参加者32名

10月15日 「精神障がい者のグループホームの一日」 参加者32名

3 乙訓障がい者虐待防止センター

障害者虐待防止法に基づき運営し、業務を行った。

(1) 養護者、障がい者福祉施設従事者等、使用者による障がい者虐待に関する通報又は届出の受理

・通報ごとに市町と対応方針の協議と事実確認を行い、必要に応じてケース会議や家庭訪問、面接等を行った。

・通報受理件数

(件)

	養護者による		施設従事者による		使用者による		合計	
	通報	認定	通報	認定	通報	認定	通報	認定
平成28年度	9	2	4	0	1	0	14	2
平成29年度	20	11	10	2	3	1	33	14
平成30年度	12	7	14	2	3	0	29	9
令和元年度	15	4	6	0	4	0	25	4
令和2年度	12	5	19	4	0	0	31	9

・二市一町とケースの情報共有を目的とした虐待事案進行管理会議を開催(毎月1回)

(2) 養護者による障がい者虐待の防止及び養護者による虐待を受けた障がい者の保護のための相談、指導及び助言

障がい者本人や養護者、障がい者の支援にあたる人からの来所相談、電話相談に対応した。

<本人からの相談内容>

家族との関係や日常生活の不安、支援内容の不満など

<養護者からの相談内容>

家族間の関係について、将来の生活への不安、介護負担とその軽減について、利用しているサービスにおける不安や不満など

<障がい者支援にあたる人からの相談内容>

対応しているケースの虐待予防について

・障害者虐待防止法上の虐待ではない障がい者に対する虐待の相談に対応し、適切な窓口へ引き継ぎを行った。

(3) 個別ケース会議における専門職の参加

対応の難しい案件における京都府障害者・高齢者権利擁護センター専門職派遣チームが参加した個別ケース会議 4件

(4) 障がい者虐待の防止及び養護者に対する支援に関する広報、啓発

① 障がい者虐待防止など権利擁護に関する研修会

福祉事業所や関係団体等からの依頼で、センター職員が各所に出向き、障がい者虐待防止や権利擁護に関する研修を講師として行った。

＜福祉事業所からの依頼による研修＞

- 7月 9日 一般社団法人京都府地域総合支援会 cocoSKIP 職員研修 7名
- 7月28日 乙訓福祉施設事務組合 乙訓若竹苑 職員研修 4名
- 10月29日 わいわいプラス株式会社 わいわいプラス乙訓教室 職員研修 25名
- 1月28日 株式会社KT ワークス 職員研修 8名
- 2月 2日 ENDEAVOR JAPAN らうれあ 職員研修 15名
- 2月 3日 ENDEAVOR JAPAN ジョブサポート RINEN 職員研修 16名

② 乙訓障がい者虐待防止センター主催研修

日時 令和2年12月11日（金）10:00～12:00

場所 乙訓福祉施設事務組合 大会議室

講師 一般社団法人日本アンガーマネジメント協会認定講師 榎本 恵理子氏

内容 「支援中のイライラ怒りに振り回されないアンガーマネジメント」

参加人数 20名

③ 障がい者虐待防止連携協力体制の整備

令和2年度乙訓障がい者虐待防止ネットワーク会議・研修会の開催

例年6月に開催しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、障がい福祉に直接関係する機関・団体の他、医療・司法・教育・就労など38名の委員へ書面での報告を行った。また、障がい者の人権に関する資料を添付し、障がい者の権利擁護についての理解を深める機会とした。

(5) センター職員派遣研修

- 7月15日 発達障害者も共に働きやすい職場づくり研修
- 8月 7日 市町村職員のための障害者虐待・高齢者虐待での虐待対応に関する研修会（実務編）
- 8月28日 市町村職員のための障害者虐待・高齢者虐待での虐待対応に関する研修会（対応編）
- 9月10日 京都府こころの健康セミナー（アルコール依存症セミナー）
- 9月14日 発達障害のある人と働く
～よく知ることから始まるともに働く環境づくり～研修
- 9月24日 アンガーマネジメント講座
- 10月19日 令和元年度精神保健福祉研修Ⅰ（基礎）
- 10月21日 職場のコミュニケーションを円滑にするコツ研修
- 12月 8日 兵庫県障害者虐待対応力向上研修

- 1 2月26日 日本障害者虐待防止学会学術集会（オンライン開催）
- 3月10日 令和2年度福祉サービス苦情解決事業相談研修会
（オンライン開催）
- 3月11日 令和2年度社会福祉専門職セミナーⅡ
～伝えるはトレーニングできる～アサーティブ研修の参加について
（ZOOMによるオンライン開催）
- 3月22日 虐待の防止と身体拘束・行動制限の廃止を考える研修会
（オンライン開催）
- 3月26日 成年後見制度の基礎知識（オンライン開催）

乙訓ポニーの学校

1 施設運営及び療育の総括

専門研修の機会が少ない中、オンライン開催の研修に参加し、また内部で勉強会を実施することで、日々の療育、相談支援に活かすよう尽力した。また、医師や各種療法士を招いての症例検討では困難ケース等の症例を上げて検討し、療育や相談支援の質の向上を目指した。

- 児童発達支援事業では、新型コロナウイルス感染予防対策に努めながら、通常の療育と変わらない支援ができるよう尽力した。
- 相談支援事業では、契約者は年度末で372名となり、年間のサービス利用計画及び継続障害児支援利用報告作成件数は、延べ961件（前年度比120%）となった。
- 令和2年度から発達相談業務を開始した。ポニーの学校利用児に年1回発達検査を実施し、発達状況を把握した上で、保護者への相談対応を行った。

2 児童発達支援事業

(1) 行事等

- 4月 4日 療育開始
- 7月13日、17日、22日 京都府立向日が丘支援学校説明会
(6月～9月に保護者の希望により、該当校の通常学級、特別支援学級等の参観を適宜実施)
- 7月11日 上半期家族懇談会（56人出席）
- 9月30日 第1回両親教室「就学先の選択と学校生活について」
話題提供者として卒園児保護者4人、参加者47人
- 1月24日 下半期家族懇談会（49人出席）
- 3月30日 就学児を送る会（33組出席）
(新型コロナウイルス感染症拡大予防のため卒園児のみ参加、二部制で開催)

(2) 職員研修

① 派遣研修

- 感覚統合実践・体験セミナー（1人）
- 障害福祉従事者専門研修（1人）
- 医療的ケア児等コーディネーター養成研修（1人）
- 精神保健福祉研修（基礎） オンライン（1人）
- 相談支援従事者初任者研修（3日間コース） オンライン講義（1人）
- 苦情解決事業相談研修会 オンライン講義（1人）
- 小児リハビリテーション専門職研修会 オンライン講義（2人）
- 小児リハビリテーション従事者研修会 オンライン講義（4人）
- 向日が丘相談・支援センターセミナー動画公開（5人）

② 内部研修

事例検討会 助言者：川畑 隆氏（臨床心理士） （7回実施）

内部研修会 助言者：廣田陽代氏（小児科医師） （2回実施）

専門職との連携

助言者：青木 のり子氏（理学療法士） 事例検討・研修等 1回実施

助言者：齋藤 典昭氏（言語聴覚士） 事例検討・研修等 2回実施

助言者：依岡 美幸氏（作業療法士） 事例検討・研修等 1回実施

助言者：岩崎 香代氏（歯科衛生士） 実地指導・助言等 9回実施

(3) 利用状況

① 月別利用児童数

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
向日市	31	31	31	31	31	31	36	36	36	36	36	36	33.5
長岡京市	57	57	57	56	56	56	57	57	57	57	57	57	56.8
大山崎町	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
合計	96	96	96	95	95	95	101	101	101	101	101	101	98.3
令和元年度実績	97	97	97	97	97	97	102	102	102	102	102	102	99.5

② 男女別・年齢別幼児数

【上半期：9月末現在】

(人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	割合
男	0	0	9	11	31	30	81	85%
女	0	0	0	3	5	6	14	15%
計	0	0	9	14	36	36	95	100%

【下半期：3月末現在】

(人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	割合
男	0	1	11	12	32	30	86	85%
女	0	0	1	3	5	6	15	15%
計	0	1	12	15	37	36	101	100%

③ 利用開始年齢 ー前年度比較ー 【4月1日現在】

(人)

年齢	0歳児～	1歳児～	2歳児～	3歳児～	4歳児～	5歳児～	計
令和元年度	0	0	5	12	8	4	29
割合	0%	0%	17%	41%	28%	14%	100%
令和2年度	0	0	6	5	11	6	28
割合	0%	0%	21%	18%	40%	21%	100%

(4) 療育実施状況

① 主な障がい種別

(人)

種別	肢体不自由	知的障がい	視覚障がい	聴覚障がい	発達障がい	その他	計
人数	5	24	0	2	44	26	101

令和3年3月31日現在

② 事業の実施状況

(人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ 利用 児数	304	289	380	311	227	300	346	323	307	276	327	296
	延べ利用児数 3,686 人①											
療育 日数	15	13	18	15	11	13	18	17	17	13	16	14
	療 育 日 数 180 日②											
1日の平均利用児数 (①÷②) = 20.5 人												

※療育日数：療育を実施した日数。遠足や保護者向け講演会等の行事や保育所・幼稚園訪問、嘱託医相談日等は日数に含まれない。

定期療育出席率（利用率）

(%)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和元年度	85.0	86.9	86.1	81.3	82.3	85.3	87.7	86.8	81.5	88.3	84.2	91.5	85.6
令和2年度	86.9	89.5	93.4	86.6	91.2	94.0	85.6	91.5	86.7	93.2	85.4	89.2	89.4

③ 訪問指導

(回)

上半期	下半期	計
46	44	90

(5) 発達相談

実施件数 94件

(6) 各種相談

① 嘱託医相談（10回実施） 24人

② 歯科衛生士相談（月1回）4～7月休止 延べ68人

③ 作業療法士相談（1回実施） 3人

④ 言語聴覚士相談（1回実施） 3人

*③④は地域療育等派遣事業により、すてっぷセンターから派遣

(7) 療育関連事業

- ① おもちゃライブラリー 休止
- ② 母と子の文庫（絵本、紙芝居等の貸出し事業）
- ③ 施設開放事業 休止

(8) 安全衛生

新型コロナウイルス感染予防対策として以下の対策をとった。

- 登園時の消毒液による手指消毒の励行、手洗いの励行
- 保護者クラス、療育後の懇談を休止（4月～6月）
- 食事指導（4月～6月）・おやつ（継続中）の休止
- ドアノブ、机等備品の消毒、部屋の換気
- 職員のマスク着用、出勤前の検温
- 利用児及び保護者の登園時検温

食中毒予防並びに館内の衛生のため、以下の対策をとった。

- 昼食までの間、通園児の持参した弁当を冷蔵庫で保管（6月～9月）
- 食前の手洗いの励行
- 衛生管理業者による水回り、プレイルーム及び面接室の消毒

(9) 防災関係

- 避難訓練（5月29日、11月28日）
- 消防設備点検（11月18日、1月8日）

(10) ポニーだより 4回発行

(11) 見学の受け入れ

児童発達支援事業所ドリトル竹の台指導員 5名

(12) 実習・研修の受け入れ

心理実践実習（公認心理師）1名

(13) 関係機関との連携

- ① ポニーの学校関係機関連絡会議
ケアマネジメント会議（向日市・長岡京市）
- ② 保・幼、母子保健及び児童福祉との連携
保育所、幼稚園訪問を実施すると共に、保健師と連絡を取り合い、児童と保護者、家族に対する理解を深め、適切な対応をとるよう努めた。
・長岡京市発達支援保育指導会議委員
- ③ 教育機関との連携
・向日市教育支援委員会 就学前児部会委員
・長岡京市教育支援委員会 新入児審議部委員
・大山崎町教育支援委員会 就学前児部会委員

④ その他障がい者福祉との連携

- ・京都府療育教室指導者連絡協議会
- ・乙訓圏域障がい者自立支援協議会運営委員
- ・乙訓圏域障がい者自立支援協議会委員（相談支援部会・医療的ケア委員会）
- ・長岡京市障がい者ネットワーク連絡調整チーム会議委員
- ・長岡京市地域健康福祉推進委員会障害福祉部会オブザーバー委員
- ・乙訓圏域障がい者相談支援事業所連絡協議会
- ・乙訓圏域障がい児通所事業所連絡会

(14) 苦情解決制度の利用 なし

(15) 寄 贈

療育用遊具 山のつり橋（国際ソロプチミスト京都 西山から）

3 障害児相談支援事業

【相談延べ件数】（障害児支援利用計画作成モニタリング含む）

（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
向日市	64	32	33	45	30	34	49	49	38	30	45	30	479
長岡京市	55	45	44	52	44	39	49	39	38	36	52	42	535
大山崎町	22	9	9	11	13	7	18	10	5	8	14	9	135
令和2年度 合計	141	86	86	108	87	80	116	98	81	74	111	81	1,149
令和元年度 合計	113	81	58	51	144	68	84	86	85	42	62	87	961

一般相談	年度	件数
	平成30年度	22
	令和元年度	21
	令和2年度	13

契約者数

（人）

	向日市	長岡京市	大山崎町	合 計
平成30年度	104	138	32	274
令和元年度	141	170	38	349
令和2年度	160	175	37	372

